

# BizStack Construction Apps

## 水中ポンプ死活監視 App

### ユーザーマニュアル



# 目次

## サービス概要編

- 用語集
- サービス概要/構成
- 同梱物一覧

## セットアップ編

- BizStackへのログイン
- 機器の設置・接続

## 利用編

- はじめに
- センサーデータの確認
- センサーの異常検知
- アラートルールの管理・設定
- ユーザーの管理
- BizStack Assistantの機能と使用方法
- ゲートウェイの接続確認

## 返却編

- 返却先と返却物一覧

## トラブルシューティング/FAQ

# サービス概要編

名称	説明
BizStack	BizStackはMODE,Inc.が開発・提供するIoTプラットフォームの名称です。 BizStackは、IoTゲートウェイ(BizStack Gateway)、クラウド盤 (BizStack Cloud)、生成 AI チャットボット (BizStack Assistant)、そしてWebアプリケーション(BizStack Console)で構成されています。
BizStack Gateway (=G/W)	現場でのデータ収集装置です。 これはお客様の現場に設置され、センサーからデータを収集し、BizStack Cloudにデータを送信します。
BizStack Assistant	生成AIを使用して対話形式でBizStackに収集されたデータやナレッジベース情報を取得できるチャットボットです。TeamsやDirect、Slackなどのチャットアプリケーション上で動作します。
エンティティ	BizStack はデータを「エンティティ」で管理します。例えば、機械や部屋、工場、ライン、組織、人物などをエンティティとして登録できます。 エンティティには部屋のように単なる階層やグループを表現させることもできる一方で、センサー自体を表しセンシングした値をメトリクスとして保有するエンティティ、ゲートウェイを表すエンティティもあります。
デバイス	BizStack においては、 BizStack Gateway のことをデバイスと呼んで管理します。

名称	説明
ホーム	デバイスやデータを管理するためのグループをホームと呼びます。
ユーザー	BizStack Console を使用する人間のこと。アクセス可能な機能やリソースは、管理者ユーザーによって付与されたユーザー権限によって制御されます。
アクセスコントロールグループ	ユーザーとその権限をまとめて管理するためのグループ。 ユーザーは複数のアクセスコントロールグループに所属することができます。
ダッシュボード	収集したデータの表示するための BizStack Console の機能です。 ダッシュボードはエンティティごとに複数作成することができます。 ダッシュボードにウィジェットを配置することで様々な情報を表示することができます。
アラートルール	センサーの値やその頻度、位置情報を元に、アラートを発生させる条件のこと。 ユーザーはアラート発生条件（監視対象とするエンティティ、値のしきい値など）を設定し、アラート通知方法（Eメール、BizStack Assistant など）を指定することにより アラートルールを作成することができます。
アラート	アラートルールの定義を満たした際にアラートが発生します。 発生したアラートは BizStack Console の アラート一覧や、ダッシュボード上のアラートウィジェットに表示される他、Eメールなど、アラートルールによって指定された方法で通知されます。

電流センサーにより水中ポンプを監視、  
停止時にはTeams等チャットツールにアラート通知が可能

## セーフィーカメラ

※別契約になります



## SIRC電流センサ



BLE

## BizStack Gateway (SF)



LTE  
またはWiFi

※LTEの場合

AC100V

## BizStack Assistant

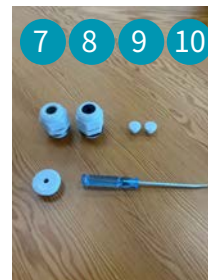
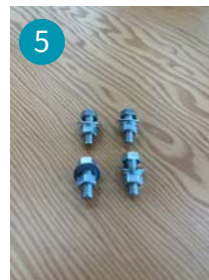
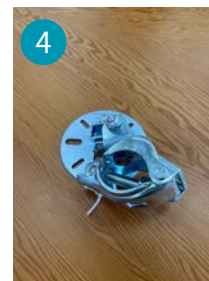
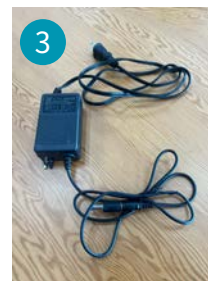


機器の停止アラートを  
受け取り可能

製品の詳細な使い方は  
ユーザーマニュアルをご覧ください



No.	同梱物	レンタル返却品
1	Cassia Networks X2000	○
2	LTE USB ドングル (SIM入り)	○
3	AC/DCアダプター (変換プラグ含む)	○
4	単管クランプ (丸フランジ付)	○
5	六角ボルト・ワッシャー・ナット	-
6	ポール取り付け用ストラップ	○
7	上部スクリーカバー	○
8	ケーブルグランド	○
9	USB穴シリコンプラグ	○
10	スクリウドライバー	○
11	ネジ付きアンカー	○
12	取り付け用ブラケット	○
13	レンタルに当たってのマニュアル	-



No.	同梱物	レンタル返却品
14	SIRC IoT電流センサユニット PCJ14	-
15	ボタン電池	-
16	ドライバー	-
17	SIRC取扱説明書	-



※No.14~17は、レンタルではなく販売でのご提供となります。

# セットアップ編

1. 招待メールからリンクをクリックすると、右画像のページに遷移します。
2. 名前とパスワードを設定し登録が完了するとログイン画面に遷移します。

## アカウントの有効化



次回ログインする時のために、画面をブックマークしておいてください

3. BizStack ConsoleのURL (<https://console.bizstack.cloud/login?projectAlias=safie>) へアクセスします。

## BizStack共通ログイン画面

(<https://console.bizstack.cloud/login>) からログインする場合は、『プロジェクトの通称：safie』を入力の上、メールアドレス、パスワードを入力してください。

4. メールアドレス、パスワードを入力して「ログイン」ボタンをクリックします。

## ログイン



## ログイン



# ゲートウェイの取り付け方法と設定

- BizStack Gatewayを同梱のACアダプタを使用しAC100Vの電源に接続し、電源がONになっていることを確認してください。
- P.8を参照し、BizStackにログインし、「テナント」にて対象の名前を選択し、対象のテナント画面を開きます。①
- 製品記載のMACアドレスを参照し、「デバイス設定」にて該当のゲートウェイのステータスが「接続済」になっていることを確認してください。②
- WiFi通信を利用する場合はユーザーマニュアルを参照し設定を行ってください。LTEの場合は作業不要です。



MACアドレスは機器の底面をご参照ください。



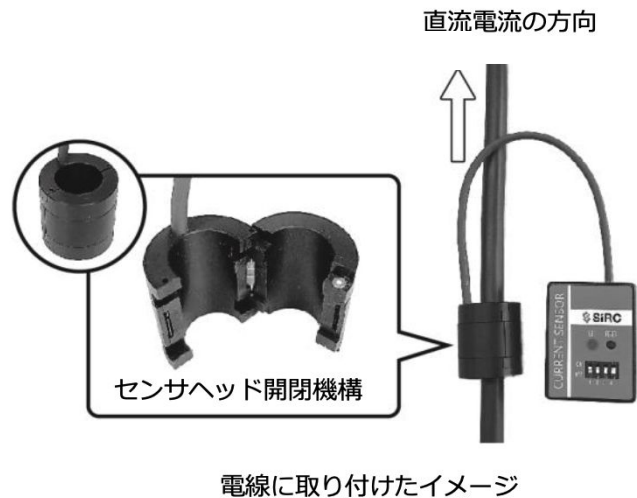
※接続状態ではSIM通信ドングルのLED部分が細かく点滅します  
(青と緑の細かい点滅)

製品の詳細な使い方は  
ユーザーマニュアルをご覧ください



- センサヘッドを開き、向きに気をつけて計測電線を挟むように取り付けてください。
- センサーは非防水のため、袋に入れるなど簡易防水を行うことを推奨します。
- センサーは3芯ではなく1芯に対してクランプしてください。

※取り付け例参照



## 【実際の取り付け例】



1芯に  
取り付け

アース線には  
取り付け不可

3芯には取り付け不可

※電池の交換や設定の変更などその他取扱いは同梱の「SIRC取扱説明書」をご確認ください。

- 1 センサーは以下の設定スイッチで「測定対象」と「測定間隔」を変更することができます。
  - 測定対象：測定対象の電流が交流（AC）か直流（DC）に合わせて変更ください。※1
  - 測定間隔：標準は1分で設定しています。ポンプの平均連続動作時間が1分未満の場合は測定間隔を調整ください。※2
- 2 変更した場合はリセットボタンを押下し、LEDランプが点灯したことを確認してください。



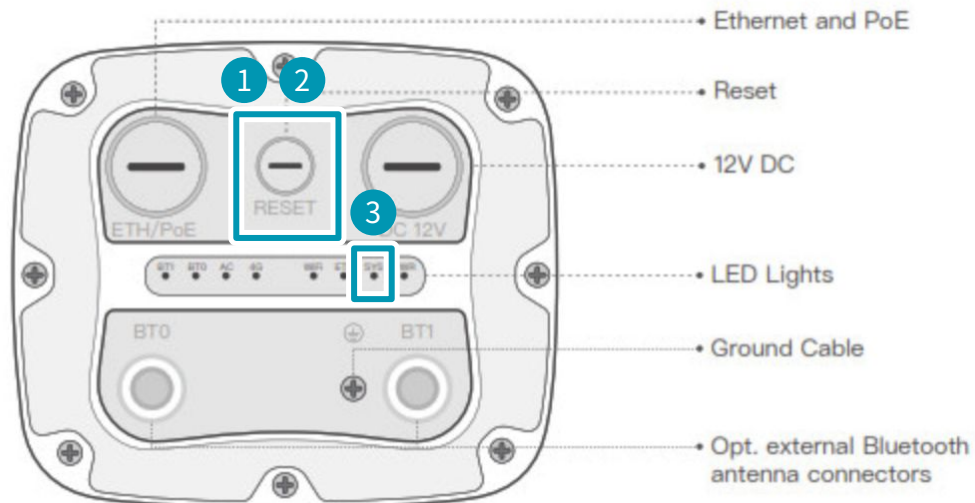
※1：大きく東日本が50Hz、西日本が60Hzになります。詳しくは実際の電源を確認ください。

※2：測定間隔を短くすると電池の持続時間に影響がありますので、不必要に変更はしないようにしてください。

（測定間隔1分時、電池寿命3年 ※メーカー資料より）

- Cassiaの電源入れて、30秒ほど待ちます。

- 1 背面にあるRESETボタンのキャップを付属のドライバー等で開けます。
- 2 RESETボタンを3秒程度長押しします。
- 3 SYSランプが高速に点滅したら再起動開始です。



- PCからcassia-XXXXXXというSSIDのWiFiアクセスポイントを探して接続します。

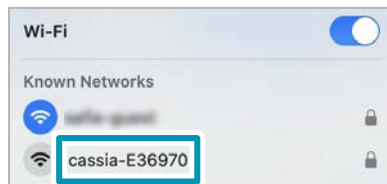
- ※ XXXXXX部分は、CassiaのMACアドレスの最後の6文字です。
- ※ MACアドレスは、Cassia背面のラベルで確認します。
- ※ WiFi パスワードは SSID と同じです。下記写真の例であれば、cassia-E36970です。



### Windowsの場合

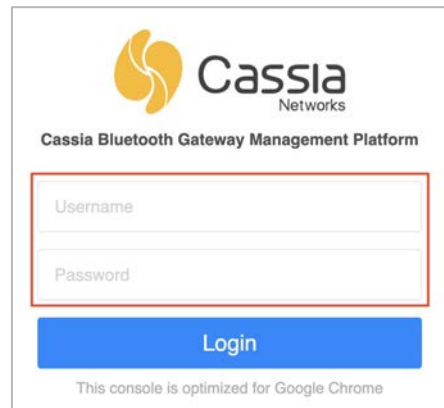


### Macの場合



- Webブラウザ（Google Chrome）でCassiaの管理画面 <http://192.168.40.1>にアクセスしパスワードを設定します。

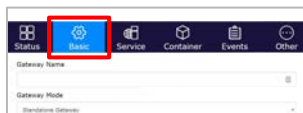
- ※ Username：admin
- ※ Password：ユーザーで設定ください。



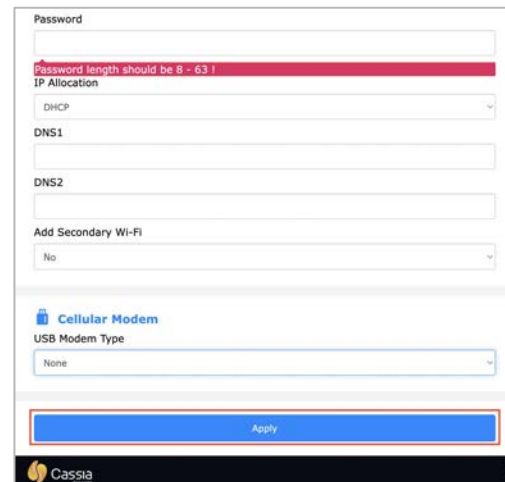
## ネットワークの設定

- 「Basic」のタブをクリック
- 画面下部の「Wi-fi Client」の欄まで行き、以下の設定をしてください。
  - Wireless Network : 『Enable』を選択
  - SSID : 接続するWifiのSSIDを入力
  - Password : SSIDのパスワードを入力
  - IP allocation : 『DHCP』を選択

※ その他項目は変更しないようにお願いします。

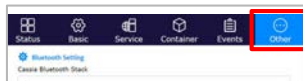


- 画面下部の「Apply」を押し、「Save successfully」と表示されることを確認してください。



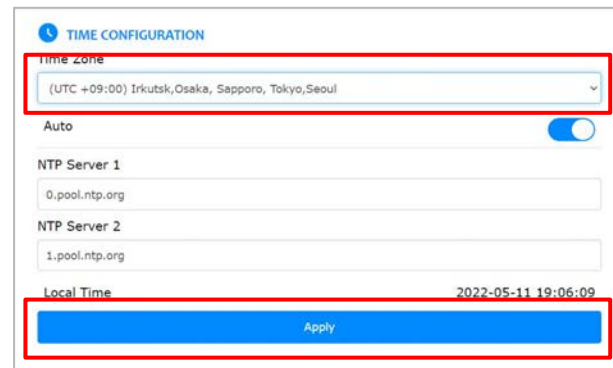
## タイムゾーンの設定

- Otherタブをクリック。



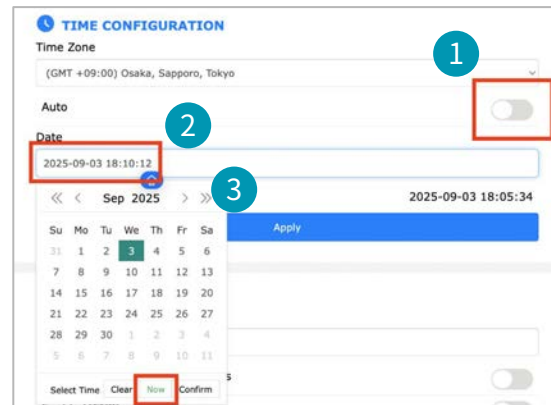
- 画面下部の「TIME CONFIGURATION」の欄まで行き、以下の設定をしてください。
  - Time Zoneに『(UTC+09:00) Osaka, Sapporo, Tokyo』を選択

- 画面下部の「Apply」を押し、「Save successfully」と表示されることを確認してください。



※ 「TIME CONFIGURATION」の「Local Time」欄の日付が現在時刻になっている場合は、以下の設定はスキップできます。そうでない場合は以下の設定も必ず行ってください。

- 1 「Auto」をOFFにします。
- 2 「Date」欄に現在の日付を入力します。「Date」欄をクリックするとカレンダーが表示され、その下部の「Now」ボタンをクリックすると現在の日時が入力されます。
- 3 画面下部の「Apply」を押し、「Save successfully」と表示されることを確認してください。
- 4 「Local Time」が正しくなったことを確認します
- 5 続いて「Auto」をONに戻します
- 6 画面下部の「Apply」を押し、「Save successfully」と表示されることを確認してください。

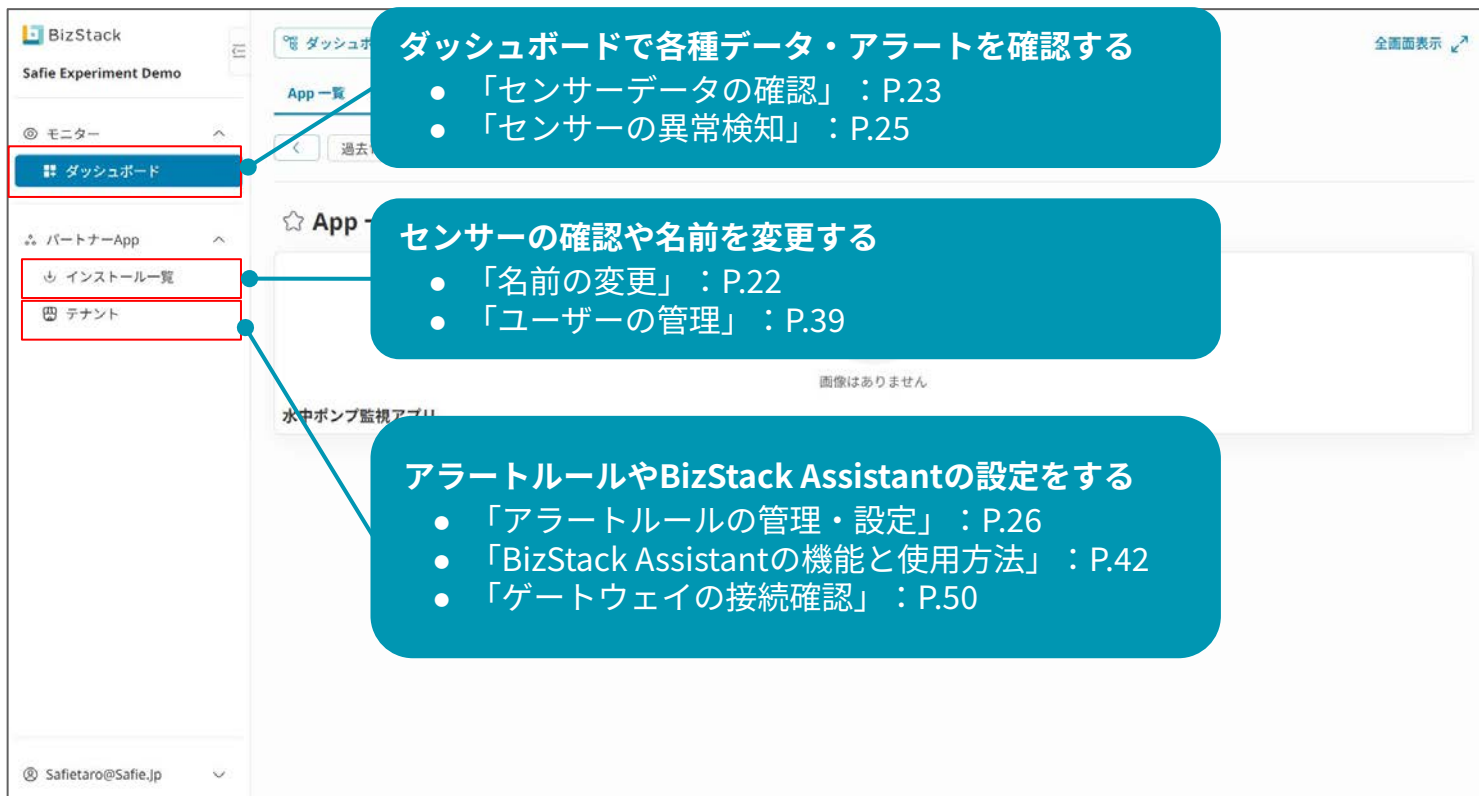


- 電源を抜き差し(=再起動)してください
- CassiaをWifiが届く位置に設置し、BizStackにログインしてください。
- デバイスのステータスが「接続済」になっていることを確認してください

以上でセットアップは完了です。  
利用編の流れに従い、データが取得できているかを確認してください

# 利用編

## ログイン後画面



The screenshot shows the BizStack dashboard interface. The left sidebar contains navigation items: 'ダッシュボード' (Dashboard), 'パートナーApp' (Partner App), 'インストーラー一覧' (Installer List), and 'テナント' (Tenant). The main content area shows 'App 一覧' (App List) and a placeholder for an image. Three callout boxes provide navigation instructions:

- ダッシュボードで各種データ・アラートを確認する**
  - 「センサーデータの確認」：P.23
  - 「センサーの異常検知」：P.25
- センサーの確認や名前を変更する**
  - 「名前の変更」：P.22
  - 「ユーザーの管理」：P.39
- アラートルールやBizStack Assistantの設定をする**
  - 「アラートルールの管理・設定」：P.26
  - 「BizStack Assistantの機能と使用方法」：P.42
  - 「ゲートウェイの接続確認」：P.50

# 名前の変更（設置場所の名称指定）

※後からセンサーの設置場所等が分かりやすいよう、センサーの名前を変更することを推奨します。

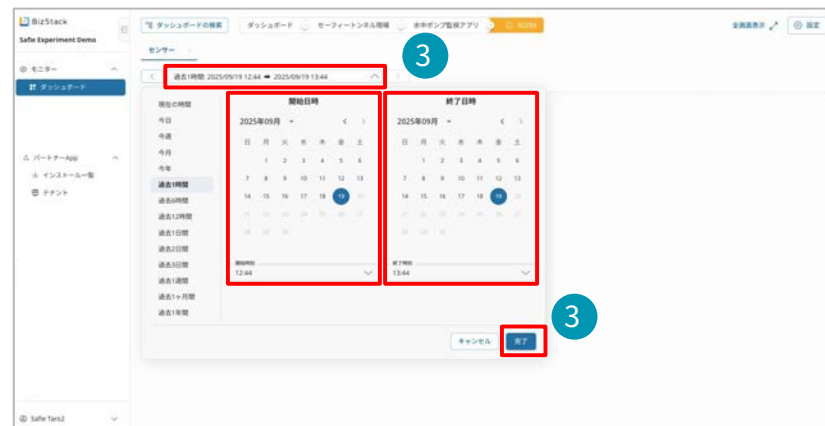
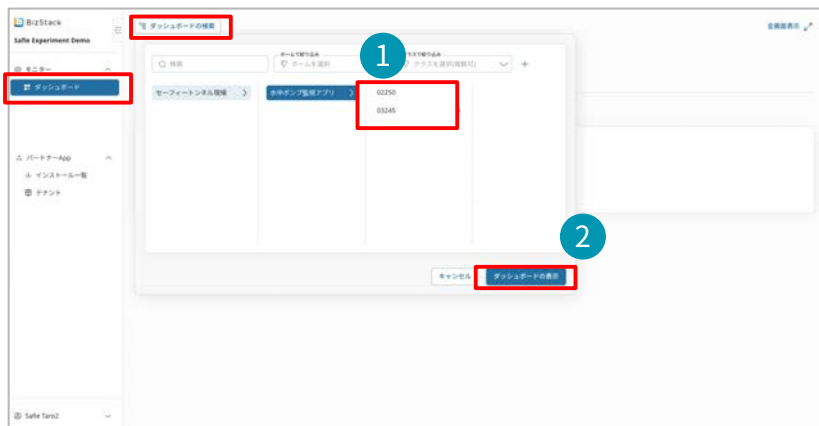
（例：セーフィートンネル坑口）

- 1 インストール一覧メニューで、「水中ポンプ監視アプリ」の行を選択します。
- 2 水中ポンプ監視アプリ設定画面の「センサーモジュール」にある名前を変更したいセンサーを選択し、「センサーモジュールの情報」画面の3点リーダーから「センサーモジュールの編集」を選択します。
- 3 名前を変更し、「保存」を選択します。



計測するセンサーの値はダッシュボードにより確認することができます。

- 1 「ダッシュボードの検索」 からダッシュボードを表示したいセンサーを選択します。
- 2 「ダッシュボードの表示」 ボタンをクリックします。
- 3 「時刻タブ」 を選択し、「開始日時」「終了日時」を変更し「完了」を選択します。



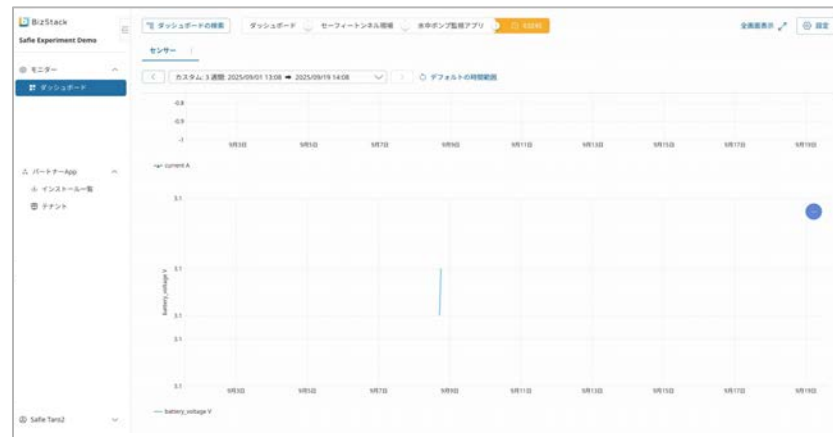
ダッシュボードは以下の通りです。

## <電流値（機器の稼働状況）>



電流値が0の時には機器の停止を意味します。

## <センサーの電池残量>



電圧が2.4Vを下回ると交換推奨です。  
(メーカー取扱説明書より)

ダッシュボードでは、発生しているアラートの確認が可能です。

※アラートはメールやBizStack Assistantでも受け取ることが可能です。（アラートルール設定参照）



The screenshot displays the BizStack dashboard interface. On the left is a navigation sidebar with options like 'モニター', 'ダッシュボード', 'パートナーApp', 'インストール一覧', and 'テナント'. The main content area shows a dashboard for '水中ポンプ死活監視App'. It contains two gauge widgets, each labeled '電流' (Current) and '-- A'. The left gauge has a value of 02250 and the right one has 03245. A red rectangular box is overlaid on the dashboard with the text 'アラートがありません' (No alerts).

- 初期設定では以下の2つのアラートが用意されています。
- それぞれ通知先は設定されておらず、アラート自体は無効化されています。

## 1 水中ポンプアラート

### 水中ポンプの停止の監視

電流値を監視しており、一定期間電流値が1Aを超えない場合は発報する。

## 2 センサー接続アラート

### ネットワーク停止や機器停止の監視

電流値の有無を監視しており、一定期間値がない場合は発報する。



The screenshot shows the 'アラート' (Alerts) section of the Safie Experiment Demo interface. It displays a table of alert rules for the 'セーフティトンネル現場' (Safety Tunnel Site). The table has columns for ID, Name/Description, Monitoring Scope, Type, Status, and Creation Date. Two rules are listed: one for '水中ポンプアラート' (Submersible Pump Alert) with status '有効' (Active), and one for '水中ポンプ(submersible pumps) Heartbeat' with status '無効' (Inactive).

ID	名前 / 説明	監視範囲	タイプ	ステータス	作成日時
2931	水中ポンプアラート	セーフティトンネル現場に属するエンティティ	値監視	有効	2025年9月08日 15:46:45
2932	水中ポンプ(submersible pumps) Heartbeat	セーフティトンネル現場に属するエンティティ	接続監視	無効	2025年9月08日 15:46:45

アラートの状態は以下の4種類です。

発生中	ターゲットがアラートルールの条件に一致して、アラート発生中の状態。
復旧	ターゲットが通常に戻るか、アラートが手動で解決された状態。
廃止	「警告」状態の間にアラート条件が変更された状態。
無効	「警告」状態にあるときに監視をオフにされた状態。

アラートはポンプの種類によって以下の設定を推奨します。



## オートポンプ

ある程度水位が溜まって動くタイプは監視間隔を、一定の周期+ $\alpha$ の時間に設定することを推奨します。

## 常時稼働ポンプ

常時動いているタイプは停止時間が短くても溢れる可能性があるため、監視間隔を数分に設定することを推奨します。

- 1 アラートの発生条件の変更を行いたい場合は、テナントから該当テナントをクリックします。
- 2 編集したいアラートの情報アイコン、三点メニューアイコンをクリックして、「アラートルールの編集」をクリックします。
  - アラートの編集は以下の3つがあります。
    - アラートの発生条件の変更 / 各水中ポンプへの個別設定 / アラート通知先の追加・変更



## <アラートの発生条件の変更 - 水中ポンプアラート>

- 水中ポンプの稼働状況に合わせて、必要に応じて監視間隔と監視値を変更します。
- 水中ポンプアラートの初期設定は以下です。

- 監視間隔：1時間
- 監視値：1A

※ これは「1時間の間に一度も電流値が1Aを超えない場合はアラートが発報される」という意味です。水中ポンプが動く頻度や電流値に合わせて適切に設定してください。



3 条件の設定

アラートの発生条件

次の期間に条件を満たす場合アラートを発生させる

値\* 1 × 時間 ↓ 監視間隔

条件を評価するデータ

時点\* 現時点のデータ ↓

アラート条件

\* メトリックの最大値が以下の条件を満たす場合 ↓

メトリックの値が以下の場合重大度 高 のアラートを発生させる

\* 値 (A)\* 1 監視値

次の値より小さい ↓

重大度中のアラートを発生させる

重大度低のアラートを発生させる

< 戻る 次へ > 完了

## <アラートの発生条件の変更 - センサー接続アラート>

- センサー接続アラートについても必要に応じて監視間隔を変更します。
  - センサー接続アラートの初期設定は以下です。
    - 監視間隔：5分
- ※ これは「5分の間に一度も電流値が計測されない場合はアラートが発報される」という意味です。水中ポンプが動く頻度や電流値に合わせて適切に設定してください。



3 条件の設定

アラートの発生条件

次の期間にデータを確認できない場合アラートを発生させる

値\* 5 × 分 ↓ 監視間隔

条件を評価するデータ

時点\* 現時点のデータ ↓

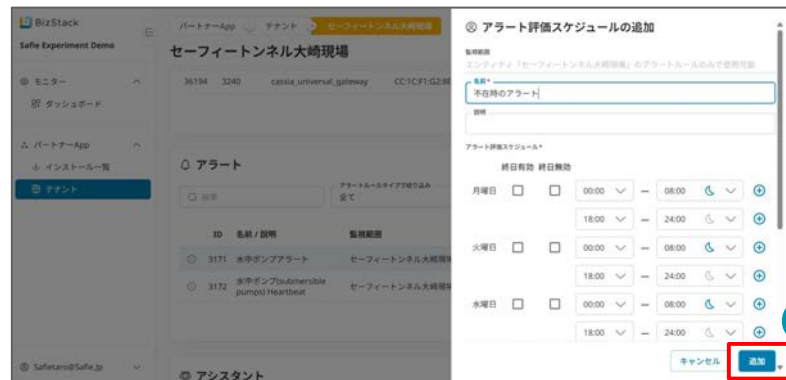
重大度\* 高 ↓

< 戻る 次へ > 完了

## <アラートの発生条件の変更>

アラートの発生条件は「水中ポンプアラート」「センサー接続アラート」共にスケジュール設定が可能です。

- 1 評価スケジュールの設定からアラート評価スケジュール、アラート評価スケジュールの追加をクリックします。
- 2 名前を記入、アラートを有効化したいスケジュールを適宜追加し、「追加」をクリックします。



## <各水中ポンプへの個別設定>

- デフォルトでは契約者レイヤが監視対象に設定されており、全ての水中ポンプに共通のアラート設定になっています。



対象の設定

監視範囲: セーフティンネル現場に属するエンティティ  
監視するエンティティの種類: SIRC Sensor(SIRC\_BCI)

メトリクスグループ: SIRC PCJ Electric Current Sensor  
メトリック: current  
監視対象エンティティの条件指定: 次に属するエンティティだけを監視する  
属のエンティティ: 水中ポンプ監視アプリ

条件の設定

次の期間に条件を満たす場合アラートを発生させる: 30 分  
現時点のデータに基づいて条件を評価  
アラート条件: メトリックの最大値が以下の条件を満たす場合  
重大度 3 のアラートをメトリックの値が 次の値以下 1A

評価スケジュールの設定

アラート評価スケジュール: 常にデータを評価する

通知のセットアップ

Eメールを送信: wataru+e2e@tinkermode.com

戻る キャンセル 保存

全ての水中ポンプ  
共通のアラート設定です

## <各水中ポンプへの個別設定>

アラートを各水中ポンプで個別設定したい場合、以下の設定を行ってください。

- 1 アラートの情報アイコン、三点メニューアイコンをクリックして、「アラートルールの複製」をクリックします。
- 2 対象の設定から、監視対象エンティティの条件指定を「次に属するエンティティだけを監視する」を選択。
- 3 親のエンティティでアラートを設定したい水中ポンプを選択し、「完了」を選択。

その他アラート条件の設定は、「アラートの発生条件の変更」の手順に従ってください。



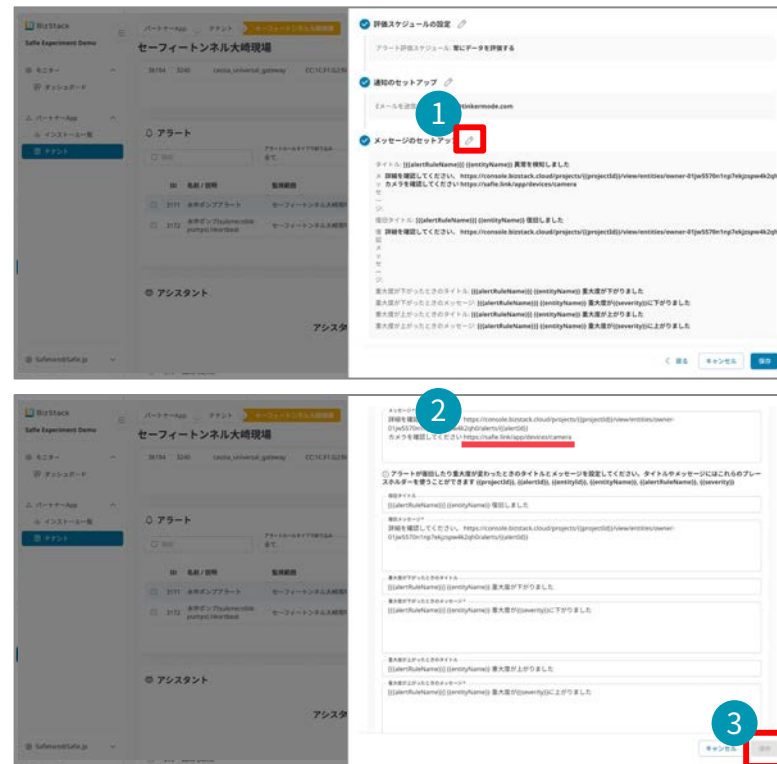
## < Safieカメラリンクの設定 >

- 同様に「アラートルールの編集」からアラートメッセージを編集することが可能です。
- デフォルトで設定されているセーフターのカメラ一覧ページ (<https://safie.link/app/devices/camera>) からカメラ個別ページに変更いただけます。

※ カメラ個別ページのURLは自身が契約しているSafie Viewerからご確認ください。

- 編集方法は以下の通りです。

- 1 「メッセージのセットアップ」の編集アイコンを選択します。
- 2 「メッセージ」からカメラ一覧ページのURLを編集します。
- 3 「保存」を選択します。



## <アラート通知先の追加・変更>

- 通知のセットアップを選択して、「完了」ボタンをクリックします。  
※通知先以外の変更も可能ですが、適切なアラート通知がいくよう設定しているため、変更しないようお願いします。

5 通知のセットアップ

アラートがトリガーされたときにどのように受信者に通知しますか？

通知方法*	メールアドレス*	削除
Eメール	test@tinkermode.com	

+ 通知方法の追加

< 戻る 完了

## <アラートの有効化>

- 1 アラートの有効化を行いたい場合は、対象アラートを選択します。
- 2 アラートルールの三点メニューアイコンをクリックして、「アラートルールの有効化」をクリックします。

The screenshot displays the Safie interface for managing alert rules. The main panel shows a table of alerts with the following data:

ID	名前 / 説明	監視範囲
3171	水中ポンプアラート	セーフティンネル大崎現場
3172	水中ポンプ(submersible pumps) Heartbeat	セーフティンネル大崎現場

The first row is selected, and a context menu is open over it. The menu items are:

- アラートルールの編集
- アラートルールの複製
- アラートルールの有効化 (highlighted with a green checkmark)
- アラートルールの削除

A notification banner at the top of the menu indicates: アラートルールが無効化されています。 (Alert rule is disabled).

The right panel shows the details of the selected alert rule:

- アラートルールタイプ: 値監視
- 名前: 水中ポンプアラート
- 説明: アラートを手動で解決する必要がある: いいえ  
復旧通知をミュート: いいえ
- 監視範囲: セーフティンネル大崎現場に属するエンティティ
- 監視するエンティティの種類: SIRC Sensor(SIRC PCJ)
- メトリクスグループ: SIRC PCJ Electric Current Sensor
- メトリック: current

## <アラートの無効化>

- 1 アラートルールを無効化する際は、有効化と同じようにアラートルールの三点メニューアイコンをクリックして、「アラートルールの無効化」をクリックします。



The screenshot displays the Safie management console for a tenant named 'セーフティンネル大崎現場'. It shows a list of alerts, with the '水中ポンプアラート' (Water Pump Alert) rule selected. A context menu is open over this rule, showing options: 'アラートルールの編集' (Edit), 'アラートルールの複製' (Duplicate), 'アラートルールの無効化' (Disable), and 'アラートルールの削除' (Delete). The 'アラートルールの無効化' option is highlighted with a red box and a '1' in a blue circle. The 'Alert Details' panel on the right shows the configuration for this rule, including its name, type, and monitoring scope.

ID	名前 / 説明	監視範囲
3171	水中ポンプアラート	セーフティンネル大崎現場
3172	水中ポンプ(submersible pumps) Heartbeat	セーフティンネル大崎現場

**アラートルール**

1 情報

アラートルールタイプ: 値監視  
名前: 水中ポンプアラート  
説明:  
アラートを手動で解決する必要がある: いいえ  
復旧通知をミュート: いいえ

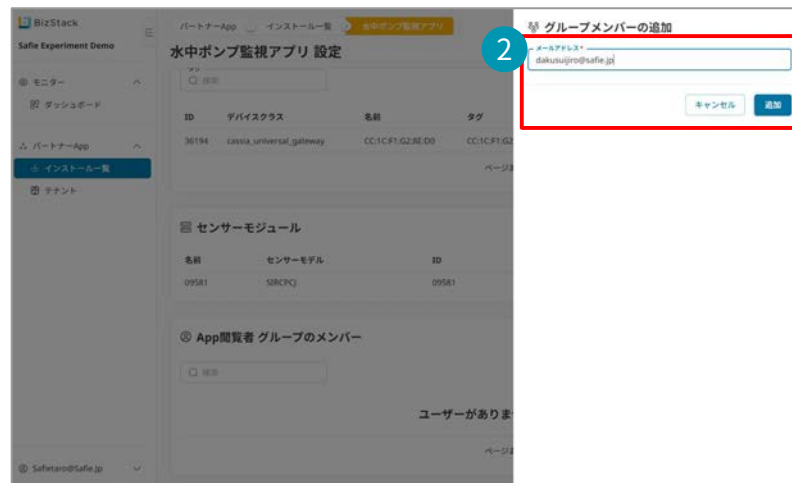
2 対象

監視範囲: セーフティンネル大崎現場に属するエンティティ  
監視するエンティティの種類: SIRC Sensor(SIRC PCJ)  
メトリクスグループ: SIRC PCJ Electric Current Sensor  
メトリック: current  
監視対象エンティティの条件指定: 次に属するエンティティだけを監視する  
親のエンティティ: 水中ポンプ監視アプリ

3 条件

次の期間に条件を満たす場合アラートが発生させる: 30分  
現時点のデータに基づいて条件を評価  
アラート条件: メトリックの最大値が以下の条件を満たす場合

- 1 水中ポンプ監視アプリ設定画面の「グループメンバーの追加」をクリックします。
- 2 メールアドレスを設定して、「追加」ボタンをクリックします。
- 3 追加されたユーザーは、「アカウントアクティベーション」の項の手順に沿ってアカウントを有効にします。



- ユーザーは契約アプリケーションに合わせて以下の権限（アクセスコントロールグループ）を設定できます。

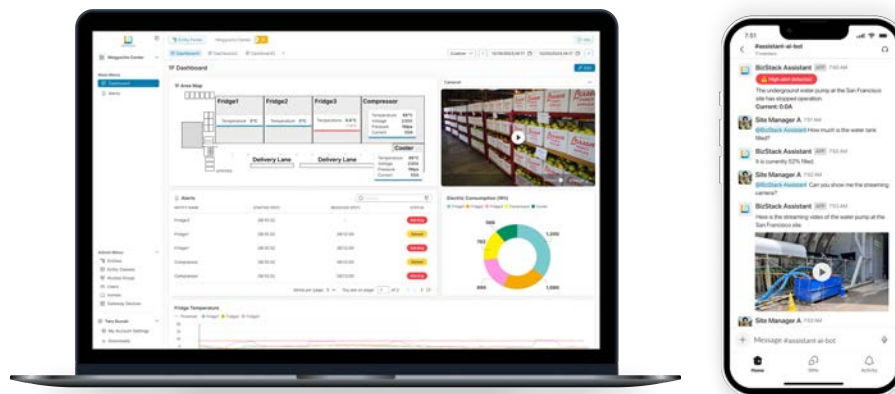
権限	概要
テナント管理者	アラートの設定や、エンティティの名称変更、ゲートウェイの設定、アクセスコントロールの設定、ユーザーの招待・削除が可能。
App閲覧者	ダッシュボードの参照のみ可能。

※App閲覧者は契約しているAppの種類数分だけ存在します。

- 水中ポンプ監視アプリ設定画面で削除したいユーザーをクリックします。
- ユーザーの情報パネルの三点メニューアイコンをクリックし、「ユーザーの削除」をクリックします。 ①
- ユーザーの名前またはユーザーのIDを入力して「削除」ボタンをクリックします。 ②



BizStack Assistant は、BizStack に蓄積されたデータ（時系列データやナレッジベースデータ）にチャット経由でアクセスできる次世代のユーザーインターフェースです。ユーザーは、BizStack Assistant に話しかけることにより情報を取得できます。



BizStack Assistant

## チャンネルでの会話

- BizStack Assistant とチャンネルで会話するには、まず BizStack Assistant がそのチャンネルに参加している必要があります。  
(Directの場合は、トークルームに参加)
- BizStack Assistant が参加しているチャンネルにてBizStack Assistant にメンション (@BizStack Assistant で話しかける) することで 指示を出せます。
- チャンネルでの BizStack Assistant との会話は他のチャンネル参加者に共有されるため、ダイレクトメッセージでの会話に比べ、情報共有や業務状況の共有がしやすくなります。

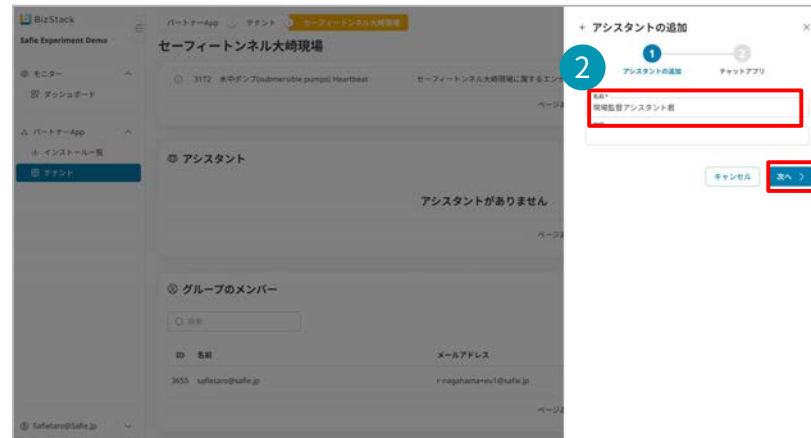
## ダイレクトメッセージでの会話

- ダイレクトメッセージ機能を用いて BizStack Assistant に直接話しかけることにより、メンションをする事無く BizStack Assistant に指示を出す事ができます。

- BizStack Assistant に指示し、各センサー等の情報を取得することができます。
- ユーザーは下記の情報を指定することで、取得したいデータを指示します。
  - 階層を伴う名前（例："大崎トンネルの抗口"）
  - 取得したい情報（例："電流値"）
  - 取得データの期間あるいは日時（例："昨日の", "7月の", "今の", or "2024/7/4 10:23 の"）

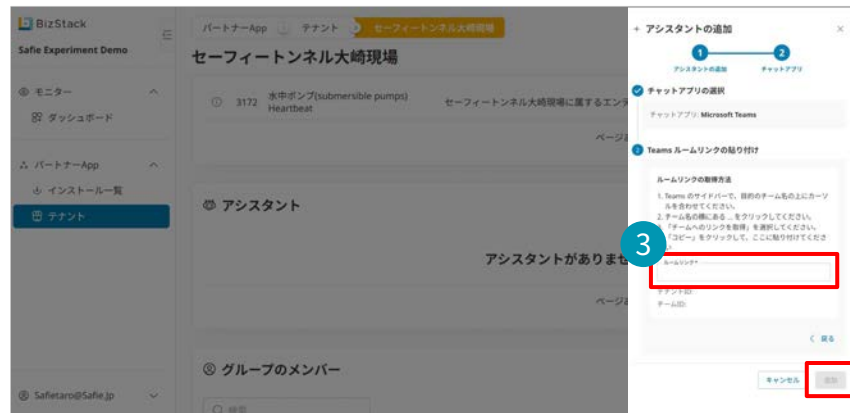
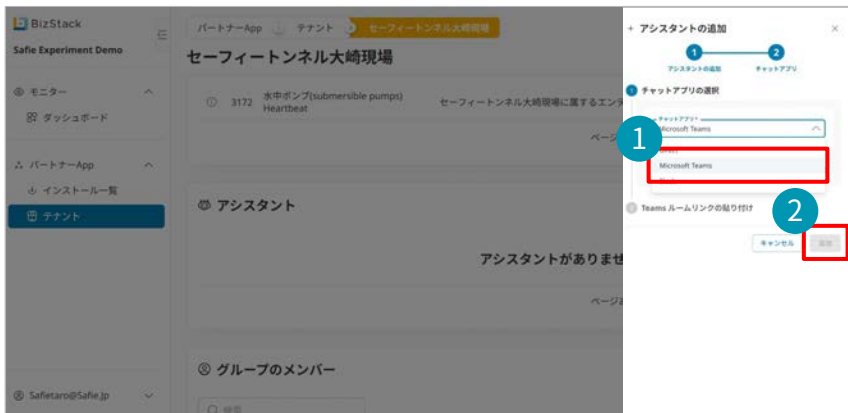


- 1 「テナント」 から対象のホームを選択し、「アシスタントの追加」を選択します。
- 2 「名前」を入力し、「次へ」を選択します。



## Teamsの場合

- 1 「チャットアプリ」 から『Microsoft Teams』を選択します。
- 2 画面の指示に従い、ルールリンクを取得しよう。
- 3 「ルームリンク」に記入し、表示されるテナントIDとチームIDに間違いがないことを確認し、「追加」を選択します。



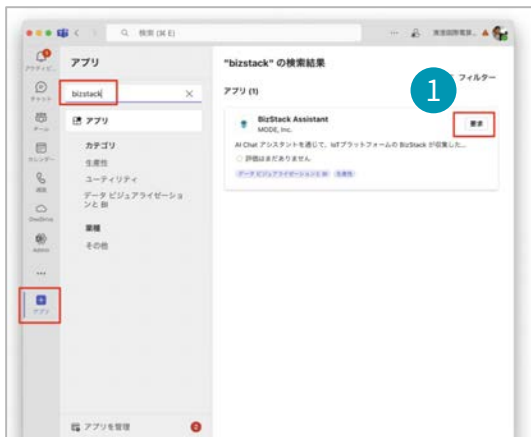
- 1 Microsoft Teamsの「アプリ」から、『BizStack Assistant』を検索し「要求※」を選択します。
- 2 「承認の要求※」を選択すると、貴社の管理者に要求が通知されます。

※既に承認済み、または承認が不要な場合は「追加」と表示されます。

管理者の承認作業が完了すると、追加可能になります。

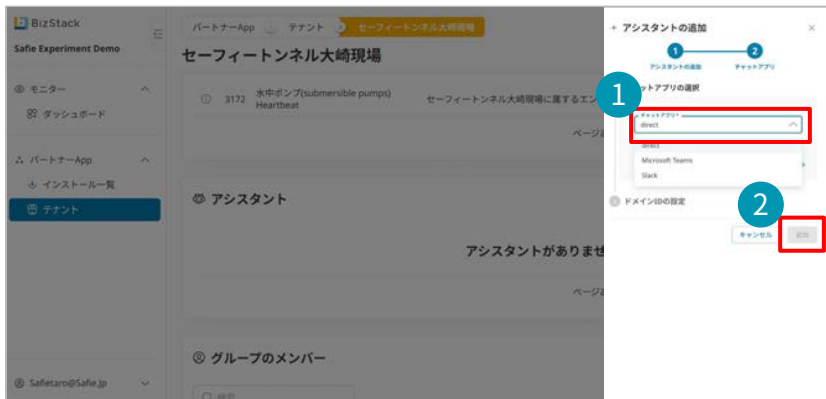
- 3 承認後、BizStack Assistantを追加するチームとチャンネルを選択してください。

BizStack Assistantが追加されたチームにある全てのチャンネルでBizStack Assistantとの会話が可能になります



## directの場合

- 1 「チャットアプリ」から『direct』を選択します。
- 2 directをウェブで開き、BizStack Assistantを追加したい組織を選択します。
- 3 URLの『home#/』に続く番号をコピーして記入、「追加」を選択します。
- 4 BizStack Assistantを追加したい組織へ以下メールアドレスを招待してください。  
[bizstack-assistant+safie@tinkermode.com](mailto:bizstack-assistant+safie@tinkermode.com)
- 5 承認後、組織にBizStack Assistantが追加されたのをご確認ください  
※承認には1営業日程度のお時間をいただきます



- 1 同様に「テナント」からホーム、対象のアシスタントを選択します。
- 2 三点メニューアイコンを選択し、「アシスタントの削除」を選択します。



The screenshot displays the BizStack Assistant interface. On the left, the 'テナント' (Tenant) menu is selected. The main area shows the 'セーフティンネル現場' (Safety Tunnel Site) configuration. Below this, the 'アシスタント' (Assistant) section contains a table with one entry: '315 Safe Demo'. A red box and a circled '1' highlight this entry. On the right, the 'エンティティアシスタント詳細情報の表示' (Display Entity Assistant Detailed Information) panel is open. A red box and a circled '2' highlight the three-dot menu icon in the top right corner of this panel. The dropdown menu is open, showing the option 'エンティティアシスタントの削除' (Delete Entity Assistant), which is also highlighted with a red box.

ID	名前 / 説明	監視範囲
2931	水中ポンプアラート	セーフティンネル現場に属するエ
2932	水中ポンプ(submersible pumps) Heartbeat	セーフティンネル現場に属するエ

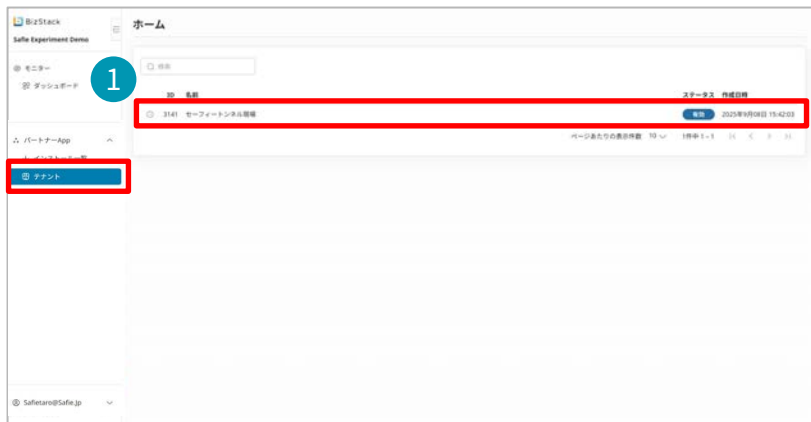
ID	名前	メールアドレス
----	----	---------

- 1 「テナント」 から確認したいホームを選択します。
- 2 「デバイス設定」 にて対象のゲートウェイの接続状態を確認します。

ステータス：

接続済

切断



# 返却編

【返送先住所】

〒917-0249

福井県小浜市宮の前1-26

Safie レンタル事務局宛

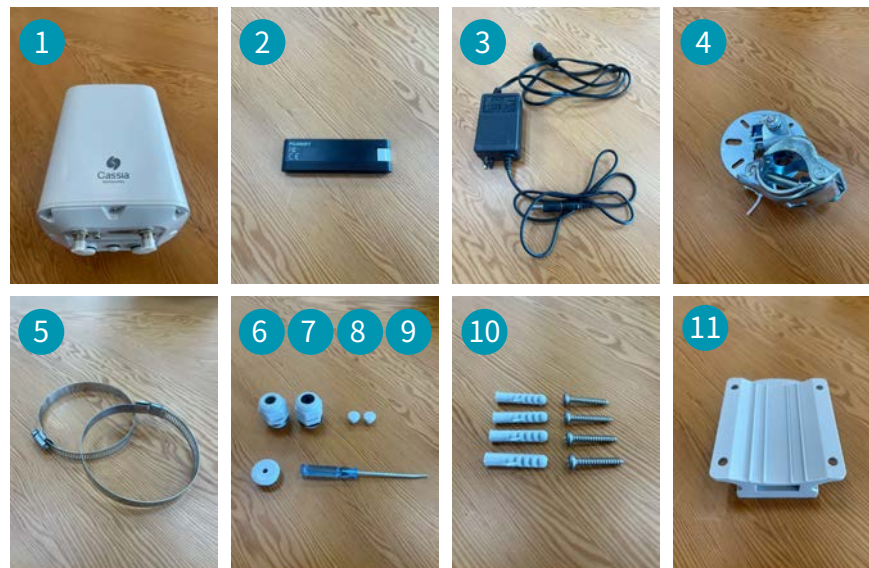
【返却連絡先】

03-6372-1276

### 注意事項

- 同梱物一覧のレンタル返却品が返却対象機器になります。返送前に該当の機器が同封されているか確認ください。
- ご返却日を過ぎた場合は、暦月計算の自動延長となり、ご請求が発生します。
- ご返却の送料はお客様負担にてお願いいたします。
- 返却物の破損や紛失があった場合は、実費をご請求する場合があります。
- 貸出品ではないものが同梱されていた場合は、弊社にて廃棄いたします。梱包時には 機器返送時お送りいただくものをご確認ください。

No.	同梱物
1	Cassia Networks X2000
2	LTE™ USB ドングル (SIM入り)
3	AC/DC アダプター 12V2A (DCプラグ変換プラグ含む)
4	単管クランプ (丸フランジ付) KSTK-F
5	ポール取り付け用ストラップ
6	上部スクリーカバー
7	ケーブルグランド
8	USB穴シリコンプラグ
9	スクリュードライバー
10	ネジ付きアンカー
11	取り付け用ブラケット



# トラブルシューティング/FAQ/ 製品仕様及び安全上の注意事項

不具合やご不明点が発生した場合は、以下の項目をご確認ください。  
本ユーザーマニュアルのFAQを参照した後に、お問い合わせフォームからご連絡ください。

お問い合わせフォーム: <https://safie.jp/contact/after/>



セーフィーお客様  
お問い合わせフォーム

## ① 電源が入らない場合

考えられる原因①：ACアダプターや変換プラグの接続不良

- 対応策
  - ACアダプターがコンセントに正しく差し込まれているか確認してください。
  - ゲートウェイ本体とアダプターを繋ぐ変換プラグが、しっかりと差し込まれているか確認してください。

考えられる原因②：電源供給がされていない

- 対応策
  - ゲートウェイ本体に正しく電源供給がされているか、電源供給元を確認してください。

## ② 通信ができない場合

**考えられる原因①：** LTE USB ドングルの接続不良、または電波状況が悪い

### ● 対応策

- LTE USB ドングルがゲートウェイ本体のUSBポートに正しく接続されているか確認してください。
- また電波状況が悪い場所に設置されている可能性があります。設置場所を変更するか、電波状況の良い場所で一度お試しください。

**考えられる原因②：** Wi-Fiの設定が正しくない、またはWi-Fiの電波状況が悪い

### ● 対応策

- Wi-Fiでご利用の場合、電波状況のご確認以外にSSIDやパスワードの設定が間違っていないかのご確認、またアクセスポイントの再起動をお試しください。

## ③ 電流センサーが認識されない場合

**考えられる原因：** 電流センサーの電池残量不足、またはゲートウェイとの通信不良

### ● 対応策

- 電流センサーのボタン電池が正しくセットされているか、電池残量が十分にあるか確認してください。電池残量は、センサーのリセットボタンを押してLEDライトが光ることで確認が可能です。
- センサーがゲートウェイの通信範囲内（約10m以内）にあるか、また間に遮蔽物が無いか確認してください。
- 電波が届きにくい場合は、ゲートウェイの設置場所を見直してください。
- ゲートウェイの再起動をお試しください。
- センサーのリセットをお試しください。リセットボタンを押すとリセットがされます。

Q. ゲートウェイはどのように再起動しますか

A. ゲートウェイの電源を抜き差ししてください。

Q. ゲートウェイと電流センサーは両方とも屋外に設置できますか？

A. ゲートウェイ（Cassia Networks X2000）は防水仕様のため屋外に設置可能ですが、  
電流センサー（SIRC IoT電流センサ）は非防水です。水濡れや埃を防ぐため、必ず分電盤の中に設置してください。

Q. 電流センサーは何台まで接続できますか？

A. 接続台数に制限はございません。

Q. サービスを利用するために、別途通信契約は必要ですか？

A. いいえ。本パッケージは、LTE USB ドングルにSIMが挿入された状態で提供されます。  
そのため、お客様側で通信契約を結ぶ必要はありません。

Q. 返却時の送料はどちらが負担しますか？

A. 返却時の送料はお客様のご負担となります。元払いにてご返送をお願いいたします。

Q. 自社で購入した電流センサーは繋がられますか？

A. いいえ。繋ぐことは出来ません。

Q. 招待メールが届かない

A. メールが迷惑メールフォルダに振り分けられていないかをご確認ください。

Q. Bizstackのログインパスワードを忘れてしまった

A. Bizstackのログイン画面下部の『パスワードをお忘れですか？』から登録したメールアドレスを入力し、再発行してください。

万が一不具合（電源が入らない、通信が出来ない等）が発生した際は、対象のゲートウェイのシリアルナンバー（SN）をお控えいただき、お問い合わせ時にご連絡ください。

## ゲートウェイのシリアルナンバー確認方法

- 本体の底面に記載のX20 ... から始まる数字になります。



電流センサーのお問い合わせの際は「ホームID」と「S/N」を控えていただき、お問い合わせ時にご連絡ください。

## ホームIDの確認方法

- 1 「テナント」を選択します。
- 2 IDの欄に記載の4桁の数字がホームIDとなります。

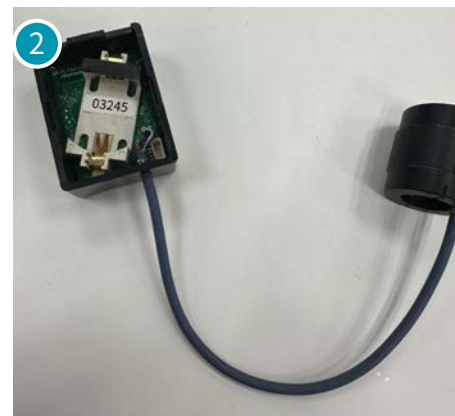


The screenshot shows the BizStack interface. On the left sidebar, the 'テナント' (Tenant) menu item is highlighted with a red box and labeled '1'. The main content area shows the 'テナント' (Tenant) list. The table has columns for 'ID', '名前' (Name), 'ステータス' (Status), and '作成日時' (Creation Date). The first row shows '3240' in the ID column, which is highlighted with a red box and labeled '2'. The name is 'サーフィートンネル大崎現場', the status is '有効' (Active), and the creation date is '2025年10月29日 18:58:56'.

ID	名前	ステータス	作成日時
3240	サーフィートンネル大崎現場	有効	2025年10月29日 18:58:56

## S/Nの確認方法

- 1 センサーの下部に記載されています。
- 2 上記で判別できない場合、SIRC取扱説明書をご参照してボタン電池を取り出すと、その下にもS/Nが記載されています。



## 製品インターフェース

- Bluetooth Low Energy: 4.0 / 4.1 / 4.2 / 5.0
- Wi-Fi: 802.11 a/b/g/n/ac、2.4GHz および 5GHz ISM バンド
- イーサネット: 10/100 Base-T
- USB 2.0: USBセルラーモデムに対応
- 外部Bluetoothアンテナコネクタ: N型メスコネクタ（50Ω）、オプション
- リセットボタン: 工場出荷時の設定にリセットします。リセットプラグ（M12X1.5）を先に外してください。
- LEDランプ: BT / AC / 4G / Wi-Fi / イーサネット / システム / 電源

## 電源

- Power over Ethernet (PoE): 802.3af/at 準拠の電源
- オプション: 12V DC 電源アダプター
- 注意: 2つの電源を同時に使用しないでください。

## 動作環境

- 動作温度:  $-40^{\circ}\text{C}$  ~  $+65^{\circ}\text{C}$
- 動作湿度: 0% ~ 90% (結露なきこと)
- 保管・輸送温度:  $-50^{\circ}\text{C}$  ~  $+70^{\circ}\text{C}$
- 耐風性能: 持続風速 最大 85MPH、瞬間風速 最大 135MPH
- 保護等級: IP66
- コネクタタイプ: 内径 2.5mm / 外径 5.5mm、センタープラス
- 出力電圧: 12V
- 出力電力: 12W 以上

## RF (無線周波) 曝露に関する警告

- この機器を設置・運用する際は、取扱説明書に記載された手順に従ってください。また、本送信機に使用されるアンテナは、すべての人から最低20cmの距離を確保して設置してください
- 他のアンテナや送信機と同じ場所に設置したり、一緒に動作させたりしないでください
- 本製品の使用者および設置者は、RF曝露に関する法令を遵守するため、正しい設置方法と運用方法を必ずご確認ください。